

自分の「使える英語」で ディベートを体験してみよう

～ Boxed Lunches or School Lunches? ONE WORLD (3年) Lesson 7 ～

指導
内容

- ▼指導内容 身近な内容について自分の考えや意見をもたせる。
既習事項を活用し、初歩的な英語を用いてディベートをさせる。
- ▼つけたい力 初歩的な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、モノや人を比較べたりすることができる。

技能
と
評価

評価する主な技能	<input checked="" type="checkbox"/> 聞くこと <input checked="" type="checkbox"/> 話すこと <input type="checkbox"/> 読むこと <input type="checkbox"/> 書くこと
評価する主な観点	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	<input checked="" type="checkbox"/> 外国語表現の能力
	<input type="checkbox"/> 外国語理解の能力
評価する主な方法	<input checked="" type="checkbox"/> 言語や文化についての知識・理解
	<input checked="" type="checkbox"/> ベーパーテスト評価 … 定期テスト等
	<input checked="" type="checkbox"/> パフォーマンス評価 … スピーチ、面談等
	<input type="checkbox"/> ポートフォリオ評価 … レポート、絵日記等

そ
の
他

- ◆「活用の時間」について: 4つの技能を統合的に活用したコミュニケーション活動
ディベートにおいてクラスメイトの意見を聞かせ(「聞くこと」)、その内容についてやりとり(「話すこと」)をする。
- ◆「習得の時間」について: スモールステップを踏んだ授業の工夫
教科書の本文を内容理解することからディベートのやり方を学ばせるとともに、クラスメイトとディベートをする際の準備を十分な時間をかけて取り組ませる。
- ◆外国語活動との連携について
表現の関連: Hi, friends! Lesson4 “I like apples.”
内容の関連: ～が好き(一般動詞)



1. 単元目標

1. クラスメイトの意見に相づちをうったり、メモをとったりするなど、関心をもって聞く。
2. ディベートの議題について尋ねられたときに、適切な応答をすることができる。
3. クラスメイトの意見を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。
4. ディベートの議題について書かれた英語を読むために、必要な文化的背景を理解する。

2. 単元について(教材観・指導観)

本単元では「お弁当と給食のどちらの方が中学生にはいいか」という議題について、簡単なディベートを行う場面が設定されている。

そこで、教科書の意味理解を通じて簡単なディベートの手法を用いた活動を行うことにより、中学校で学習した言語材料を「活用」できる力を養いたい。

3. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化に関する 知識・理解
・クラスメイトの意見に相づちをうったり、メモをとったりするなど関心をもって聞いている。	・ディベートの議題について尋ねられたときに、適切な応答をすることができる。	・クラスメイトの意見を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。	・ディベートの議題について書かれた英語を読むために、必要な文化的背景を理解している。

4. 単元の指導計画

	ねらい	言語材料	主な学習活動	評価方法
1	・本文の内容を理解する。	Which do you think are better for ____, A or B? I think ____ better. Why do you think so? Because ____.	・教科書本文を意味理解する。 ・本文をチャンクごとに音読をする。	
2	・本文の内容を理解する。	I believe that ____. There are two reasons for this. First, ____ . Second, ____ . Boxed lunch side ____ . School lunch side ____ .	・教科書本文を意味理解する。 ・本文をチャンクごとに音読をする。	
3 習 得	・教科書での既習事項を活用し、初歩的なディベートを体験する。	I believe that ____ . There are two reasons for this. First, ____ . Second, ____ . Boxed lunch side ____ . School lunch side ____ .		【ペーパーテスト】 ・ディベートに必要な基本的な表現を理解しているか。

4 ・ 5	・「中学校での制服」をテーマとした簡単なディベートに備えて、意見のまとめ等の準備をする。	* 中学校での既習事項を必要に併せて活用する。	・ディベートのテーマに関する意見文を読み、内容を理解する。 ・テーマに対する「賛成」「反対」の両方についてグループで意見をまとめる。	【ペーパーテスト】 ・ディベートに必要な基本的な表現を理解しているか。
6	・「中学校での制服」に対する賛成・反対の理由を論理的にまとめて、意見することができるようにする。	* 中学校での既習事項を必要に併せて活用する。	・グループの意見をマップ等の手法を活用しまとめる。 ・意見の原稿を作成する。	
7 活 用	・ディベートの議題について尋ねられたときに、適切な応答をすることができる。		・ディベートにおいて相手の意見に合わせて、適切な反駁をすることができる。	【活動の観察】 ・クラスメイトの意見に相づちをうったり、メモをとったりすることなど関心をもって聞いている。

5-1. 「習得の時間」について

(1) 本時の目標

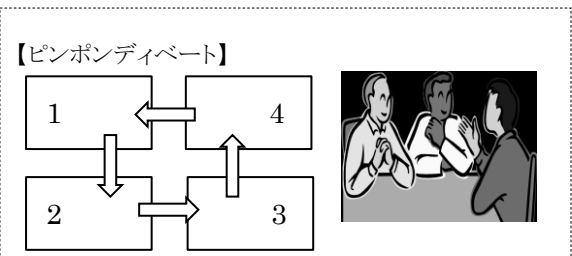
- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> ディベートの議題について書かれた英語を読むために、必要な文化的背景を理解する。 ディベートの内容について相手の意見を聞き自分の意見を述べることができる。 |
|---|

(2) 本時の評価規準

- ディベートの議題について書かれた英語を読むために、必要な文化的背景を理解している。
- ディベートの内容について相手の意見を聞き自分の意見を述べている。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援	指導の留意点
導入	1. ウォームアップ 英語の絵本を聞く。 (5分) (1) 教員(JTE)の読む絵本を聞く。 2. ピンポンディベートをする。(15分) (1) 提示された絵本のタイトルについて「ふさわしい」「ふさわしくない」の役割分担をし、その理由を考え「ピンポンディベート」を行う。	○ Webにあるフリーソフトの絵本を活用し、英語の絵本を読み聞かせる。 例) オックスフォード出版 http://www.oxfordowl.co.uk/Teacher ○ 絵本のタイトルを最後に提示する。そのタイトルが絵本にふさわしいかふさわしくないかを日本語でピンポンディベートを行う。	・絵本にある挿絵を手掛かりにすれば習っていない単語等の内容も推測できるレベルの絵本にすること。

		<p>【ピンポンディベート】</p>  <p>・「1賛成」: 最初に賛成を主張する。 ・「2反対」: 1を受けて、反対を主張する。 ・「3賛成」: 2を受けて、賛成を主張する。 ・「4反対」: 3を受けて、反対を主張する。</p> <p>・スキット劇の内容についての書かれた Q&A シートに回答を書かせる。</p>	<p>・ピンポンディベートに慣れるために日本語でモデル練習をおこなう。</p>
展開①	<p>3. 教科書本文をセンテンスリーディングする。(10分)</p>	<p>○教科書本文(「弁当派」「給食派」に分かれてディベートする内容)をセンテンスリーディングさせる。</p>	
展開②	<p>4. 教科書の内容をもとにピンポンディベートを行う。(15分)</p> <p>(1)「弁当推進派」と「給食推進派」のそれぞれが理由を考える。</p> <p>(2)理由を伝える英語での表現を教科書本文を参考にして考える。</p> <p>(3)グループでピンポンディベートをする。</p>	<p>○「弁当推進派」と「給食推進派」に分けてピンポンディベートをさせる。</p> <p>【ピンポンディベート例）</p> <p>・「弁当派」がまず主張する。 A: We have school lunches at our school. But I like boxed lunch because ____.</p> <p>・「2反対」: 1を受けて、「給食派」が主張する。 B: I don't agree with A's opinion. Because ____.</p>	<p>・教科書にある表現を利用するが、自分の言葉で表現する。</p> <p>・できるだけ教科書を見ないで行う。</p> <p>・モデルとなる英文を生徒に提示してもよい。</p>
まとめ	<p>5. まとめをする。(5分)</p> <p>(1)家庭学習の内容を確認する。</p>	<p>○教科書の音読及び筆写 センテンスリーディングを10回と筆写を3回させる。</p>	<p>・筆写や音読は、センテンスを意識させること。</p>

5-2. 「活用の時間」について

(1) 本時の目標

1. クラスメイトの意見に相づちをうったり、メモをとったりすることなど関心をもって聞く。
2. ディベートの議題について尋ねられたときに、適切な応答をする。

(2) 本時の評価規準

- クラスメイトの意見に相づちをうったり、メモをとったりすることなど関心をもって聞いている。
- ディベートの議題について尋ねられたときに、適切な応答している。

(3) 本時の指導計画

	生徒の活動	教員の支援		指導の留意点
		JTE(T1)	ALT(T2)	
導入	<p>1. ディベートでおこなう手順を確認する。(5分)</p> <p>(1) ディベートの流れを確認する。</p>	<p>○ディベートの流れについて確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【活動の流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの活動になる。 ・各グループをテーマに対する「肯定側」「否定側」に分ける。 例) ・肯定側…1・3・5班 ・否定側…2・4・6班 ・ディベートをするチームを発表する。 例) 1班と2班でディベート 5班と6班でディベート 3班と4班でディベート <p>*ディベートの流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> ①肯定側グループがまず、意見を述べ、そのあと否定側グループが意見を言う。 ②肯定側及び否定側のそれぞれで何を論点に質問するかを決定する作戦タイム。 ③肯定側からの質問及び否定側からの質問をそれぞれ行い、回答する。 ④それぞれに結論を述べる。 ⑤ALT及び教員(JET)でジャッジを行う。 </div>		
展開①	<p>2. ディベートの最終準備をする。(10分)</p> <p>(1) 肯定側・否定側のどちらの立場になるかを知る。</p> <p>(2) グループでディベートの順番や内容を整理する。</p>	<p>○各グループがディベートでどちらの立場になるかを発表する。</p> <p>○グループでディベートに向けての作戦内容を決定させる。</p>	<p>・単語やディベートに必要な表現を確認する。</p>	<p>・適切な声の大きさで話しているか</p> <p>・周りの友達や相手グループを見ながら話しているか</p>

<p>展開②</p>	<p>3. ディベートを実施する。(30分)</p> <p>(1)実際に「肯定側」「反対側」に分かれてディベートを行う。</p> <p>(2)相手の立場の意見を聞きながら、自分の意見を述べる。</p> <p>(3)それぞれの人の意見をメモしながら聞き、最後にジャッジを行う。</p>	<p>○ALTの司会を補助する。</p> <p>○それぞれの主張が終わるとジャッジを行う。</p>	<p>○司会進行をする。</p>	<p>・机をディベートがしやすいように「コの字型」に並び替える。</p> <p>・スムーズに進行できるように補助を教員が行う。</p>
<p>まとめ</p>	<p>4. まとめをする。(5分)</p> <p>(1)自分と同じ立場で理由がことなる意見、立場は違うが納得のいった意見をまとめる。</p>	<p>○ディベートの授業の良かったところを中心に感想を述べる。</p>	<p>○ディベートの授業の良かったところを中心に感想を述べる。</p>	